

令和7年度 変更

県営土地改良事業（ため池整備（一般）真備女男池地区）変更計画書

都道府県 岡山県

事業所在地 倉敷市真備町市場

事業主体 岡山県

地区名 真備女男池

## 目 次

第1章	目 的	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第2章	地域及び地積	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第3章	現 況	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
第4章	一 般 計 画	・・・・・・・・・・・・・・・・	2 3
第5章	主要工事計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	4 9
第6章	附帯工事計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	6 5
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	・・・・・・・・	6 5
第8章	環境との調和への配慮	・・・・・・・・	6 5
第9章	換地計画の概要	・・・・・・・・	6 6
第10章	事業費の総額及び内訳	・・・・・・・・	7 0
第11章	効 用	・・・・・・・・	7 1
第12章	関連する事業	・・・・・・・・	7 1
第13章	現況・計画図面	・・・・・・・・	7 2
添 付 資 料			

# 第1章 目 的

本ため池は、倉敷市真備町市場地内に位置し、受益地9.2ha(農振=9.1ha, 農振外=0.1ha)を支配する貯水池である。長年の使用により老朽化が進み、堤体下流法尻からの漏水に加え堤体断面形の変状により地震時における斜面の安定性を欠くなど堤防決壊の危険にさらされている。よって、堤体の安定とかんがい用水の確保のため、本ため池は改修する必要がある。また、受益農家及び堤体下流住民の不安を解消し堤防決壊による被害を防止すると共に地域農業の持続的な発展を目指すため、補強対策工事を早期に実施しなければならない。

# 第2章 地 域 及 び 地 積

## 第1節 地 域

( 第1表 )

事業名	地 域
県営土地改良事業 (ため池整備(一般)真備女男池地区)	倉敷市真備町市場

## 第2節 地 積

令和4年8月  
令和7年7月現在

( 第2表 )

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	樹園地 その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
( 県営 真備女男池土地 池整備(一般) 地区(一般業) )	倉敷市	9.2(0.1)	-	-	-	-	9.2(0.1)	農振 A=9.1ha 農振外A=0.1ha
合 計		9.2(0.1)	-	-	-	-	9.2(0.1)	

## 第 3 章 現 況

### 第 1 節 気象及び海象

#### 1. 一般気象

( 第 3 表 - 1 )

観測所名	岡山県地方気象台 倉敷/矢掛	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	R3年1月～R4年5月 R6年1月～R7年5月	R3年6月～R3年9月 R6年6月～R6年9月	R3年10月～R4年5月 R6年10月～R7年5月	R3年1月～R3年12月 R6年1月～R6年12月	
気 温	平 均      ℃	25.4 27.6	11.4 11.8	16.3 17.4	倉敷観測所
降 水 量	平 均      mm	184.5 146.9	50.7 76.4	103.2 122.0	矢掛観測所
	基準年	R3 R6	R3 R6	R3 R6	
降水日数	平 均      日	10.3 7.8	4.6 6.3	7.3 7.9	※1mm以上の降雨量を観測した日 矢掛観測所
	基準年	R3 R6	R3 R6	R3 R6	
根 雪 期 間		—	—	—	倉敷観測所
無 霜 期 間		—	—	—	倉敷観測所
最 多 風 向		東北東 南西	北東 北北東/西南西	東北東 東北東/北北東	倉敷観測所

2. 特殊気象

( 第3表-2 )

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
岡山県地方気象台 矢掛	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	
観測期間	量			量			量			量			量			
H29年 日雨量 S5年~R3年																
最大日雨量 (mm)	174.5	H23.9.3	1/167	168.0	S51.9.11	1/91	135.4	S17.8.31	1/25	133.0	S60.6.25	1/22	130.0	S44.7.7	1/19	
最大時間雨量 (mm)	60.0	S63.8.24	1/261	48.0	H2.7.7	1/39	42.5	H27.8.17	1/17	41.0	H5.9.4	1/13	40.0	S40.6.19	1/12	
最大4時間雨量 (mm)	82.0	S35.8.11	1/61	73.0	H8.8.14	1/20	72.0	S54.8.7	1/17	71.5	H29.9.17	1/16	71.0	S40.6.19	1/16	
最大4日連続雨量 (mm)	440.0	S51.9.9	1/1000	252.0	S60.6.22	1/38	223.0	H2.9.16	1/20	207.0	S47.7.9	1/14	202.0	H25.9.1	1/13	
最大連続干天日数 (日)	56.0	S46.10.30	1/51	52.0	H16.1.1	1/28	52.0	S48.11.10	1/28	52.0	S35.1.17	1/28	51.0	S31.11.11	1/24	
	57.0	R2.11.3	1/52	56.0	S46.10.30	1/45	52.0	H16.1.1	1/25	52.0	S48.11.10	1/25	52.0	S35.1.17	1/25	

3. 海象

( 第3表-3 )

観測所名		既往最高	さく望平均	上下弦平均	平均	上下弦平均	さく望平均	既往最低	備考
観測期間	年~年	潮位 (m)	満潮位 (m)	満潮位 (m)	潮位 (m)	干潮位 (m)	干潮位 (m)	潮位 (m)	
実測値								( )	

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

( 表4表-1-1 )

事業名	地目	田						畑・その他							受益地 標高(m)		備考	
		1/1000 ～ 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高		最低
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
（ため池整備（一般）真備女男池地区） 県営土地改良事業	面積 (ha)		9.2(0.1)				9.2(0.1)											L=1040m H=7.1m
	比率 (%)		100				100									24.0	16.9	1/146 i=0.68%
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合計	面積 (ha)		9.2(0.1)				9.2(0.1)											
	比率 (%)		100				100									24.0	16.9	

項目 土壤統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)		備 考		
	土 壤 断 面							泥 炭 層 黒 泥 層 及 び グライ層	堆 積 様 式	母 材		事 業 名	
	色	腐 植 層	礫 層	酸化沈澱物	土 性							計	計
					表土	下層土							
				一層	二層	三層							
砂土型	灰褐色	-	-	-	SL	SL	-	-	-	-	9.2	9.2	農振 A=9.1ha 農振外A=0.1ha
計											9.2	9.2	

( 第4表-1-3 )

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸食の程		備考
		0%	0~25%	25~50%	50%以上	0mm	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
（ 県営土地改良事業 （ため池整備（一般） 真備女男池地区）	面積 (ha)											
	比率 (%)											

## 2. 土地分類

( 第4表-2-1 )

級地別	農用地造成										計 (ha)	備考	
	一級地 (ha)	二級地				三級地				四級地			
市町村名		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
県営土地改良事業 （ため池整備（一般） 真備女男池地区）													
計													※は傾斜以外の要因によるもの

( 第4表-2-2 )

市町村名	干		拓			備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

## 3. 土地利用の状況

( 第4表-3 )

事業名	市町村名	耕地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	樹園地 (ha)	茶園 (ha)	その他の果樹園 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
（県営土地改良事業） （ため池整備地区） （一般） 真備男女池地区	倉敷市	9.2											9.2	農振 A=9.1ha 農振外A=0.1ha
合計		9.2											9.2	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別	個人有	国 有	県 有	町 有	計	備 考
	区分						
(た 県 真 備 備 女 女 池 男 土 池 地 池 備 地 改 区 良 ) 一 業 ) 般 業 )	面 積 (ha)	9.2				9.2	農振 A=9.1ha 農振外A=0.1ha
	受益者数 (人)	45 38				45 38	
	筆 数 (筆)	98				98	
	権 利 関 係	個人・会社				個人・会社	
	備 考 (関係戸数)	(45) (38)				(45) (38)	
	面 積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆 数 (筆)						
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						
合 計	面 積 (ha)	9.2				9.2	
	受益者数 (人)	45 38				45 38	
	筆 数 (筆)	98				98	
	権 利 関 係	個人・会社				個人・会社	
	備 考 (関係戸数)	(45) (38)				(45) (38)	

第3節 水利状況

1. 用水状況

毎年6月中旬より落水を始め、用水系統順にかんがいし、水番を設け有効利用を図る。

(1) 用水系統

別紙用水系統図を参照

(2) 用水施設

斜樋管から底樋管にて取水する。

(ア) 取水方法一覧表

(表5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量 m3/s	備考
		100ha以上		100～50ha		50ha未満		箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
(ため池整備 県営土地改良 事業(一般)真備女 男池地区)	貯水池					1	9.2	1	9.2			1	0.048 (0.035)		農振 A=9.1ha 農振外A=0.1ha ( )…上樋
	井 堰														
	自然 取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					1	9.2	1	9.2			1	0.048		
合 計					1	9.2	1	9.2			1	0.048			

(イ) 改修を要する施設一覧表

( 表5表-2 )

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
	施設名							
(ため池整備(一般)改修事業 真備女男池地区)	貯水池	真備女男池	9.2	土 堤 均一型	堤高H= 4.3m 堤長L=350.7m	不明	長年の使用により老朽化が進み、堤体下流法尻からの漏水に加え堤体断面形の変状により地震時における斜面の安定性を欠くなど堤防決壊の危険にさらされている。よって、堤体の安定とかんがい用水の確保のため、本ため池は改修する必要がある。	高梁川水系 小田川
	井 堰							
	自 然 取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合 計		1ヶ所	9.2					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

( 第5表-3-1 )

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現 況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量 (t)		備 考
				かんがい期最大 不足水量		かんがい期 総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平 均 (m <sup>3</sup> /s)	基準年 (m <sup>3</sup> /s)	平 均 (千m <sup>3</sup> )	基準年 (千m <sup>3</sup> )			
真(た 備め 女宮 男池 池土 池地 池改 地良 区一 区事 一業 般)	計									
	計									
	計									
	合 計									

(イ) その他の被害状況

( 第5表-3-2 )

事業名	時 期 別	かんがい 面積 (ha)	水 温(°C)		水 質	被 害 量 (t)	備 考
			最 高	最 低			
真(た 備め 女宮 男池 池土 池地 池改 地良 区一 区事 一業 般)							

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

( 第5表-3-3 )

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
( 県土地 ため池 男女 整備 地区 一般 事業 )	19.4		4.0	23.4	13,221 12,782	35,731 41,099	70,761 91,866	6,279 8,193	237,225 293,846	363,217 447,786	その他は、被害区域内から農地を差し引いた面積
合計	19.4		4.0	23.4	13,221 12,782	35,731 41,099	70,761 91,866	6,279 8,193	237,225 293,846	363,217 447,786	

2. 排水状況

(1) 排水系統

該当なし

(2) 排水施設

該当なし

(ア)排水方法一覧表

( 第5表-4 )

事業名	項目 施設名	排水面積						計		排水慣行 (m <sup>3</sup> /S)	現況 排水能力 (m <sup>3</sup> /S)	備考
		ha以上		～ha		ha未満		箇所	ha			
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
( 県土地 ため池 男女 整備 地区 一般 事業 )	自然	排水路										/
		水門										
	機械	排水機										
		水門及び 排水機										
		排水路及 び排水機										
		計										
合計												

(イ)改修を要する施設の一覧表

( 第5表-5 )

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
	施設名								
(ため池整備(一般)改良事業 真備女男池地区)	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
	合 計								

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m <sup>3</sup> )	田		畑		その他				
	乾								湿	乾	湿	乾	湿	作物名	減産量 (t)		
	系統名																
(ため池整備(一般)真備女男池地区) 県営土地改良事業		平均															
		基準年															
		平均															
		基準年															
	計	平均															
		基準年															
合計	平均																
	基準年																

3. 河川状況

(1) 河川の状況

( 第5表-7 )

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 ( $m^3/s$ )	既往最大洪水量 ( $m^3/s$ )	備考

(2) 洪水に関する被害状況

( 第5表-8 )

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路概況

1. 道路概況  
該当なし

2. 主要道路一覧表

( 第6表 )

No	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の 要否	備考
				全幅	有効			

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

( 第7表-1 )

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	第 2 次 産 業 (人)	第 3 次 産 業 (人)	産 分 類 不 能 の 業 の (人)										備 考
倉敷市	209,494	3,433	23	171	61,799	136,523	7,545										
計	209,494	3,433	23	171	61,799	136,523	7,545										
比率 (%)	100.0%	1.6%	0.0%	0.1%	29.5%	65.2%	3.6%										

中国四国農林水産統計データ集（平成30年～令和2年）：中国四国農政局（[maff.go.jp](http://maff.go.jp)）

令和2年国勢調査 小地域集計（男女，産業（大分類）別就業者数（15歳以上）一町丁・字等）：e-Stat（[e-stat.go.jp](http://e-stat.go.jp)）

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

( 第7表-2 )

市町村名	区分 農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数戸数(戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専兼業別農家数(戸)			備考	
		例外規定の適用を受けるもの	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0ha以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり団地数	団地当たり面積(ha)	専業	兼業		
			第一種	第二種																				
倉敷市(全体)	6,644	52	1,088	1,370	359	117	64	42	24	4	1	3,523	0.57	0.19	0.33	1.09		1.09			996	249	1,876	
計	6,644	52	1,088	1,370	359	117	64	42	24	4	1	3,523	0.57	0.19	0.33	1.09		1.09			996	249	1,876	
比率(%)	100	0.8	16.4	20.6	5.4	1.8	1.0	0.6	0.4	0.1	0.0	53.0												

※経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数は、2020年農林業センサスにおいて調査対象外となったため、2015農林業センサスを用いて整理した出典もと、経営耕地面積規模別農家数、田、畑、樹園地のある農家数と所有面積(耕作放棄地を含む)、専兼業別農家数

農林業センサス 2015年農林業センサス 確報 第1巻 都道府県別統計書 33 岡山県 | ファイル | 統計データを探す | 政府統計の総合窓口 (e-stat.go.jp)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

( 第7表-3 )

項目 市町村名	動力農機具										主要家畜										備考
	動力田植機		トラクター		コンバイン						乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽) 100羽	戸数 (戸) 100羽	数量 (羽) 100羽	戸数 (戸) 100羽									
倉敷市	2,225	2,177	2,690	2,436	2,062	2,019					290	8	X	3	X	1	4,567	6	X	1	
計	2,225	2,177	2,690	2,436	2,062	2,019					290	8	X	3	X	1	4,567	6	X	1	
100戸当たり 数量 (台、頭)	102		110		102						3,625		x		x		76,117		x		
利用戸数割合 (%)	33%		37%		30%																農家戸数 6,644

※経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数は、2020年農林業センサスにおいて調査対象外となったため、2015農林業センサスを用いて整理した  
出典もと、農業用機械を所有している経営体数と所有台数、販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数

農林業センサス 2015年農林業センサス 確報 第1巻 都道府県別統計書 33 岡山県 | ファイル | 統計データを探す | 政府統計の総合窓口 (e-stat.go.jp)

4. 主要作物作付け状況

( 第7表-4 )

市町村名		倉敷市						計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積 (ha)		3,740 3,550						3,740 3,550			
総本地面積 (ha)		3,651 田耕+畑耕 3,472						3,651 3,472			
区分 作物名		作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収量 (kg/10a)	作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収量 (kg/10a)	作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収量 (kg/10a)	作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収量 (kg/10a)		
田	表作	2,410 2,240	520 504					2,410 2,240	520 504		
	裏作										
	小計	2,410 2,240						2,410 2,240			
畑	春夏作										
	秋冬作										
	小計										
果樹園											
	小計										
計		2,410 2,240						2,410 2,240			
市町村別 延べ作付率 (%)		97.6 97.8						97.6 97.8			

5. 農業の動向

( 第7表-5 )

項目 区分	農 家		土 地			主要作物			大 家 畜			動力農機具			地 域 指定等	備考	
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B			A
変化状況 (C年を100とする指数)	総農家数	84	67	耕 地	91	76	水 稻	101	79	乳用牛	78	43	動力田植機	81	60	農業振興地域 (倉敷市真備町)  S47.9.1	A:2015年  B:2010年  C:2005年
	専業農家数	98	100	田	90	74	麦 類	57	X	肉用牛	47	X	コンバイン	81	60		
	第一種兼業農家数	133	80	畑	97	90	豆 類	54	52				トラクター	82	60		
	第二種兼業農家数	76	56	樹園地	90	79											
変化の理由	高齢化による農業の衰退 総農家数は17%減少している 専業農家、兼業農家とも減少している		都市化による耕地の減少 耕地面積は15%減少に伴い、田、畑、樹園地とも減少している			農家減少による作物の栽培量の減 水稻、豆類ともに減少している			家畜飼育農家の減少による飼育数の減			農家減少により各台数とも減少している					

※経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数は、2020年農林業センサスにおいて調査対象外となったため、2005～2015農林業センサスを用いて整理した  
 出典もと、専兼業別農家数(農家)  
 出典もと、経営耕地のある経営体数と経営耕地面積、経営耕地の状況(土地)  
 出典もと、販売目的で作付けした作物の作物別経営体数と作付面積<販売目的で作付け(栽培)した作物の類別作付(栽培)面積(主要作物)  
 出典もと、家畜を販売目的で飼養している経営体数と飼養頭羽数<販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数(大家畜)  
 出典もと、農業用機械を利用した経営体数と利用台数、農業用機械を所有している経営体数と所有台数(動力農機具)

## 第6節 地域環境の概況

### ① 自然環境

- ・ 倉敷市は温暖な瀬戸内海式気候で、年間の降水日数が少ない地域である。  
真備女男池のある倉敷市真備町市場地区は、倉敷市中心部より北西に10km余り離れた郊外に位置する農業地域である。

### ② 社会環境

- ・ 倉敷市のベッドタウンともなっており、混住化が進展している。

### ③ 生産環境

- ・ 主として水稻を営んでいる。
- ・ ため池より取水を行い、用水をまかなっている。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

本ため池は、倉敷市真備町市場地内に位置し、受益地9.2ha(農振=9.1ha, 農振外=0.1ha)を支配する貯水池である。長年の使用により老朽化が進み、堤体下流法尻からの漏水に加え堤体断面形の変状により地震時における斜面の安定性を欠くなど堤防決壊の危険にさらされている。よって、堤体の安定とかんがい用水の確保のため、本ため池は改修する必要がある。また、受益農家及び堤体下流住民の不安を解消し堤防決壊による被害を防止すると共に地域農業の持続的な発展を目指すため、補強対策工事を早期に実施しなければならない。

#### 2. 事業別面積

( 第8表 )

事業名 土地利用区分	県営土地改良事業 (ため池整備(一般)真備女男池地区)												計 (ha)	備考	
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)			
事業目的															
災害防止	9.2					9.2								9.2	農振 A=9.1ha 農振外A=0.1ha
計	9.2					9.2								9.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

該当なし

2. 土地利用区分

( 第9表-1 )

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	樹園地	茶園	その他	輪換耕地	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)												
真備池地区 (たため池整備一般事業)	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況													
	計画													



4. 生産計画

( 第9表-3 )

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考		
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加			
	土地利用区分																		
(ため池整備(一般)真備女男池地区) 県営土地改良事業	水田	表作																	
		裏作																	
		計																	
	普通畑	春夏作																	
		秋冬作																	
		計																	
	合計																		

5. 労働改善計画

( 第9表-4 )

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考			
				区分	現況	計画	増減				
(ため池整備(一般)真備女男池地区) 県営土地改良事業				人 力				/			
				機 械 力							
				人 力							
				機 械 力							
				人 力							
				機 械 力							
				人 力							
				機 械 力							
				人 力							
				機 械 力							
				人 力							
				機 械 力							
				人 力							
				機 械 力							
				人 力							
				機 械 力							
				計							
				合 計							

6. 級地別土地利用区分

( 第9表-5 )

土地 利用区分		区分 級地名	農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合計
			一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田												
	換換耕地												
	畑												
	(普通畑)												
	(牧草地)												
	樹園地												
	(果樹園)												
	(桑園)												
そ の 他													
計													

7. 土地配分計画

( 第9表-6 )

項目 区分	配分 戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備 考
		田	換換耕地	畑			計			
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反 入 植		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

第3節 用水計画

1. 計画基準年

岡山県の特異気象 矢掛観測所

[44.8日]

昭和18年[44日]・昭和51年[44日] ← 1/10年確率水田かんがい期連続干天日数（水田）より[45.5日]

2. 計画かんがい方式

自然かんがい 流下方式

3. 計画用水系統

現況用水系統と同じ（別紙用水系統図添付）

4. 計画用水量

0.048 m<sup>3</sup>/s

(1) かんがい用水

( 第10表-1-1 )

項目 系統名	種別	面積 (ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
		事業名		普通期	代かき期	面積 (ha)	平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	平均間断日数 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m <sup>3</sup> /s)	最大 (m <sup>3</sup> /s)	
		計画 単位 平均 水量 (mm/日)	計 画 代 か き 単 位 水 量 (mm)																
合計																			

(2) 営農飲雑用水

( 第10表-1-2 )

区 分	利用目的	対 象 面 積 (ha)		日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名		単位給水量 (リットル/日)	最大給水量 (リットル/日)			
		県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

( 第10表- 2 )

項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
区分	a (千m <sup>3</sup> )	b (千m <sup>3</sup> )	c=a-b (千m <sup>3</sup> )	D=c/ (1-α) (千m <sup>3</sup> )		e (千m <sup>3</sup> )	f (千m <sup>3</sup> )	G=c-f (千m <sup>3</sup> )	H=d-e (千m <sup>3</sup> )		(千m <sup>3</sup> )		損失率 : α
( 県営土地改良事業 (ため池整備一般地区) ( 真備女男池地区 )													
	計												

(2) 用水対策  
 (ア) 貯水池

( 第10表 - 3 )

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)		純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
	直 接	間 接	事 業 名						
			県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計					
真備女男池	0.088		9.2	9.2	26.9	26.9	(一期作) 1	本樋 0.013 上樋 0.035 計 0.048	



(エ) 用水路

( 第10表-6 )

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
	事 業 名						
	県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)		計				
計							

(オ) その他の水源施設

(3) 水温水質 該当なし

該当なし

第4節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 該当なし
- 2. 計画排水方式 該当なし
- 3. 計画排水系統 該当なし
- 4. 計画排水量 該当なし

( 第11表-1 )

排水系統名	受益面積 (ha)		流域面積 (km <sup>2</sup> )		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /S)			単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		備考	
	事業名		計	山地		平地	山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地		平地
	県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計										自然排水	機械排水			
計																

5. 排水対策

(1) 排水水門

( 第 1 1 表- 2 )

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)		計画排水量		排 水 本 川			備 考
		事 業 名		排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 湛水深 (m)	名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
		県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計						
該当なし									
計									

(2) 排水機

( 第 1 1 表- 3 )

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)		計画排水量		排 水 機				備 考
		事 業 名		排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
		県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計							
該当なし										
計										

(3) 排水路

( 第 1 1 表 - 4 )

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)		計 画 排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)	構 造	排水本川			備 考
		事 業 名					名 称	計画洪水 量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水 位 (m)	
		県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計							
計										

(4) その他 該当なし

6. たん水検討 該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

( 第12表-1 )

項目 路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
計				

(2) 索道

( 第12表-2 )

項目 路線名	能力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備考
計				

2. 路線配置図

該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

( 第13表-1 )

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道水路配置図

該当なし

2. 土壌改良

( 第13表-2 )

項目 区 分	面 積 (ha)	土 壤 統 (区) 名	pH		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )	りん酸吸収係数 (mg/100a)	ha当たり所要量			備 考
			H <sub>2</sub> O	KCL			石灰 (t)	りん酸質 資材 (t)	有機質 資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

( 第14表-1 )

地点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時調節後流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後の最大流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	最大調節量 (m <sup>3</sup> /s)

3. 貯水池

( 第14表-2 )

項目 貯水池名	流域面積 (km)		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )			計画調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

- |     |                    |      |
|-----|--------------------|------|
| 4.  | 洪水調節検討             | 該当なし |
| (1) | 河川改修計画との関係         | 該当なし |
| (2) | 洪水調節が下流に及ぼす影響      | 該当なし |
| (3) | 計画基準雨量以外の降雨についての検討 | 該当なし |
| 5.  | 管理計画               | 該当なし |
| (1) | 管理機構               | 該当なし |
| (2) | ダム管理操作上の各種基準       | 該当なし |
| (3) | 洪水調節要領             | 該当なし |

第8節 干拓計画

( 第15表 )

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

( 第16表-1 )

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
計					

(2) 表土扱い

( 第16表-2 )

面積 (ha)	表土扱い 要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備考

(3) 末端導水路配置図

該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

( 第16表-3-1 )

項目 区分	面積 (ha)		土壌統(区)分	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ( $\frac{mm}{s}$ /ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備考
	事業名							
	県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計						
計								

(2) 心土破碎

( 第16表-3-2 )

項目 区分	面積 (ha)		土壌統(区)分	土壌硬度	備考
	事業名				
	県営土地改良事業 (ため池整備(一般)真備女男池地区)	計			
計					

3. 客土

( 第16表-4 )

項目 区分	面積 (ha)		土壌統 (区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土 壌 の 性 質		備 考
	事業名			現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
	県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計									
計											

4. 農地保全

(1) 防災林

( 第16表-5-1 )

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

( 第16表-5-2 )

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	

(3) 浸食(崩壊)防止工

( 第16表-5-3 )

項目 施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
計				

## 第10節 老朽ため池改修計画

### 1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量	矢掛観測所			
	確率1/200年			
	日雨量	180.8mm	既応最大日雨量	174.5mm/day
	時間雨量	58.3mm	既応最大時間雨量	60.0mm/hr

56.8mm  
大となる既応最大値を利用する。

(2) 計画洪水量	1.361	1.292 m <sup>3</sup> /s	※貯留効果を考慮した。
-----------	-------	-------------------------	-------------

#### ゾーン型 (傾斜遮水ゾーン型)

2. 堤体補強計画	堤体は遮水シート工法にて止水し、堤体上流法面は張ブロック・筋芝、下流法面は筋芝にて法面保護を行う。
-----------	---

3. 取水施設改修計画	最大取水量0.048m <sup>3</sup> /s 本樋=0.013m <sup>3</sup> /s+上樋=0.035m <sup>3</sup> /s
	本樋 ため池栓はφ100mm, 斜樋管は塩化ビニル管φ150mm、底樋管はヒューム管φ800mm[仮排水断面] 緊急放流施設はスルースゲートφ300mmにて改修を行う。
	上樋 ため池栓はφ150mm, 斜樋管は塩化ビニル管φ200mm、底樋管はヒューム管φ300mm[取水量流下能力断面]

## 第5章 主要工事計画

### 第1節 用水施設

#### 1. 貯水池

( 第17表-1 )

名 称	真備女男池		位 置	倉敷市真備町市場						
	型 式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m <sup>3</sup> )	基盤地盤 地 質	貯水量 (千m <sup>3</sup> )		備 考
直 接		間 接	総貯水量					有効貯水量		
堤 体	傾斜遮水 ゾーン型 遮水シート	0.088		4.1	350.7	12.3	沖積粘性土	26.9	26.9	
洪水吐	型 式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)		取水施設 (取水)	型 式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設 (底樋)	型 式	放流量 (m <sup>3</sup> /s)	
	水路越流式 正面越流式 ラビリンス堰 越流堰	1.361 1.292			ため池栓 本樋φ100 上樋φ150 計	最大 0.013 0.035 0.048		ヒューム管 本樋φ800 上樋φ300	流下能力 1.567 1.572 0.089 0.097	

#### 2. 頭首工

( 第17表-2 )

名 称	-		位 置	-			備 考
	型 式	堤 高 (m)		堤 長 (m)		取水位 (m)	
固定部			可動部	計			

3. 揚水機

( 第17表-3 )

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	

4. 用水路

( 第17表-4 )

項目 水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	主要 構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計								
計										

第2節 排水施設

1. 排水水門

( 第18表-1 )

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
計							

2. 排水機

( 第18表-2 )

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	
計											

3. 排水路

( 第18表-3 )

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	主要 構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計								
計										

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

( 第19表-1 )

項目 路線名	路線名	幅(有効) (m) ×延長 (km)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
計										

(2) 道路主要構造物

( 第19表-2 )

項目 路線名	名 称	規模構造	延 長 (m)	箇 所 数 ( 箇 所 )	備 考

2. 索道

( 第19表-3 )

項目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ( )	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根

( 第20表-1 )

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	haあたり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

(2) 除礫

( 第20表-2 )

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	haあたり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					



(6) 末端排水路等

( 第20表-6 )

区分 \ 項目	数量	規模	構造	備考
計				

2. 土壤改良

( 第20表-7 )

項目 \ 区分	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池  
    該当なし
2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

( 第21表-2 )

名 称			位 置			計 画 洪水位 (m)	付帯施設	備 考
			堤 長 (m)					
型 式	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤 高 (m)	固定部	可動部	計			

(2) 導水路

( 第21表-3 )

項 目 水路名	通 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防

( 第22表-1 )

項目 名称	型式	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め

( 第22表-2 )

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設

該当なし

4. 埋立

( 第22表-3 )

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m <sup>3</sup> )	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

( 第23表-1 )

工 区 名	面 積 (ha)	整 理 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量(m3)	面 積(ha)	土 量(m3)	
計						

(2) 末端用水路等

( 第23表-2 )

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

(3) 末端排水路等

( 第23表-3 )

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
	計				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

( 第23表-4-1 )

区分	面積 (ha)		集水渠					吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
	県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計														
合計																

(2) 心土破碎

( 第23表-4-2 )

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

3. 客土

( 第23表-5 )

区分	面積 (ha)		客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名						
	県営土地改良事業 (ため池整備(一般) 真備女男池地区)	計					
計							

4. 除礫

( 第23表-6 )

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量(m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考
該当なし					
計					

5. 農地保全

(1) 防災林

( 第23表-7 )

項目 区分	幅 (m)	延 長 (m)	面積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
該当なし						
計						

(2) 排水路

( 第23表-8 )

項目 区分	延 長 (m)	流 量 (m <sup>3</sup> /S)	構 造	備 考
該当なし				
計				

(3) 侵食防止工

( 第23表-9 )

区 分 \ 項 目	構 造	数 量	備 考
計			

第8節 ため池施設

1. 貯水池

( 第24表 )

名 称	真備女男池				位 置	倉敷市真備町市場		
堤 体	型 式	流 域 (km <sup>2</sup> )	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )	備 考
	傾斜遮水 ゾーン型 遮水シート	直接 0.088 間接 計 0.088	4.1	350.7				
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
	水路越流式 正面越流式	貯留効果を考慮	越流水深0.30			(斜樋)		最大取水量
	ラビリンス堰 越流堰	1.361 1.292	2.16 洪水吐幅3.70			多孔式	0.048	本樋+上樋

## 2. 堤体補強施設

### (1) のり面保護施設

堤体上流法面は張ブロック・筋芝にて、法面保護を行う。

### (2) 漏水防止工

ゾーン型（傾斜遮水ゾーン型）  
遮水シート工法で止水する。

## 第6章 附帯工事計画

該当なし

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和 5年度

完了予定 令和 9年度

## 第8章 環境との調和への配慮

施工上の配慮

工事実施に際して、希少動物が発見された場合には、市・地元で協議し、保全方法について検討する。

工事中、濁水等を出さないよう配慮し、下流の地域に生息している動植物への影響を極力軽減するとともに、上流の地域に生息している動植物外来種は下流域に流出しないように駆除する。

## 第9章 換地計画の概要

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

### 第2節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称、所在、面積

( 第25表-1 )

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

#### 2. 換地区を設定する理由

該当なし

### 第3節 換地区計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

( 第25表-2 )

換地区名	地積の基準	備考



3. 農用地集団化の方針

( 第25表-4 )

区分 換地区名	地帯別、グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり 目標団地数	区画畦畔の取り扱い

4. 非農用地の換地方法

( 第25表-5 )

区分 換地区名	用途	非農用地区域 の位置の概略	面積 (m <sup>2</sup> )	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

該当なし

2. 清算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

( 第25表-6 )

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備考

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

## 第 10 章 事業費の総額及び内訳

( 第 26 表 )

単位 : 千円

事業名		県営土地改良事業 (ため池整備(一般)真備女男池地区)		備 考
		総 量		
		事 業 量	事業費 (千円)	
区 分				
主 要 工 事	堤長 L=350.7m	230,000	396,600	4 令和7年度単価
附 帯 工 事				
計		230,000	396,600	
該当なし				
関連事業 (参考)				

## 第 1 1 章 効 用

( 第 2 7 表 )

事 業 名	項 目	年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額 （千円）	備 考	
	区 分				
（た め 池 整 備 （一 般 ） 真 備 女 男 池 地 区 ） <small>県 営 土 地 改 良 事 業</small>	作物生産効果	-	-		
	維持管理費節減効果	△ 123 △ 122	122 122		
	災害防止効果（農業関係資産）	5,076 6,165	3,481 4,228		
	災害防止効果（一般資産）	10,058 12,430	-		
	災害防止効果（公共資産）	266 347	-		
	計		15,277 18,820	3,603 4,350	

〈 参考 〉
 総費用（現在価値化）：
175,834  
331,919 千円  
314,369  
総便益額（現在価値化）：
438,028  
1.78  
総費用総便益比：
1.31

## 第 1 2 章 関連する事業

( 第 2 8 表 )

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	

## 第 1 3 章 現況 ・ 計画図面

1. 計画一般図  
別図添付
2. 用水系統図  
別図添付
3. 主要構造図  
別図添付

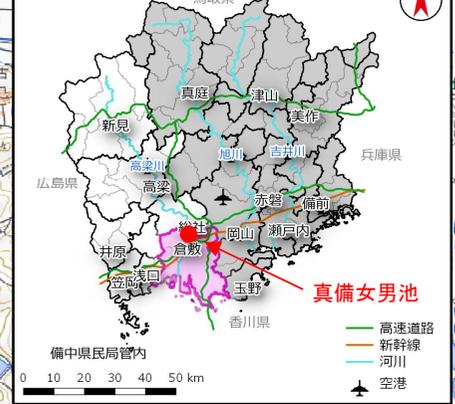


# 県営土地改良事業（ため池整備（一般））

## 真備女男池地区 計画一般図

縮尺 = 1:25,000

### 県内位置図



上段（赤）：変更前  
下段（黒）：変更後

凡例	
	ため池
	受益地
	被害想定区域
	流域

事業名	県営土地改良事業（ため池整備（一般））
地区名	真備女男池地区
受益面積	9.2 ha
関係市町村	倉敷市
事業内容	ため池整備 堤長 350.7m 堤高 4.1m
総事業費	215,000 369,000 千円
予定工期	令和 5 年度 ~ 令和 9 年度 <span style="float: right;">8</span>

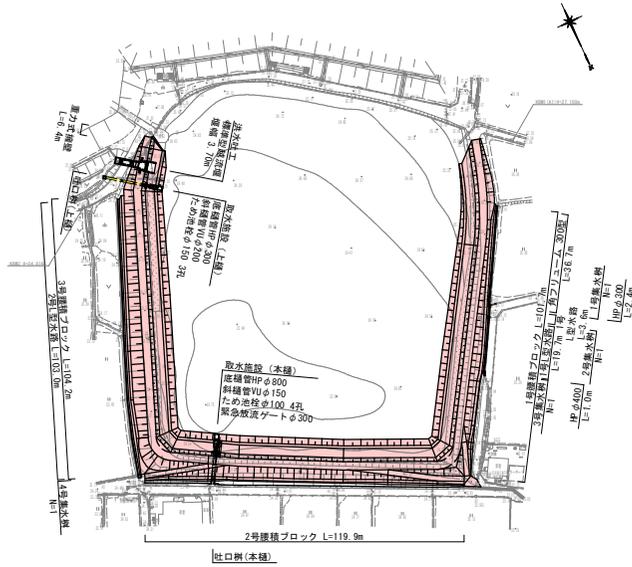


県営土地改良事業（ため池整備（一般））  
真備女男池地区 計画一般図

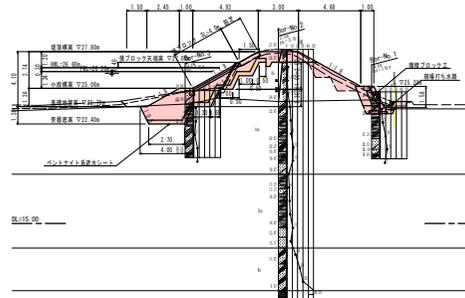
変更後



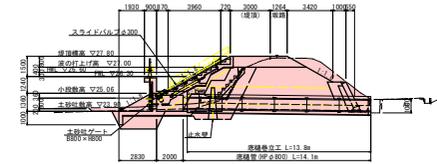
計画平面図  
S=1:1,000



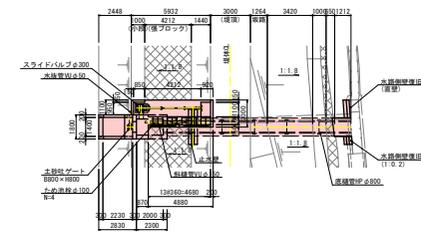
堤体工標準断面図  
S=1:200



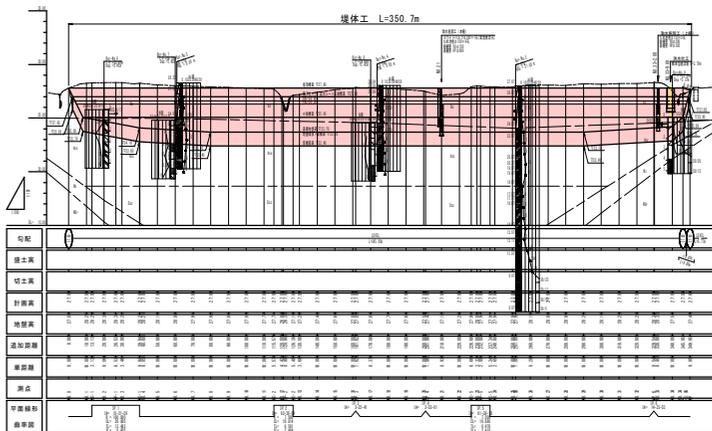
取水施設工縦断面図  
S=1:200



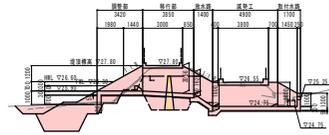
取水施設工平面図  
S=1:200



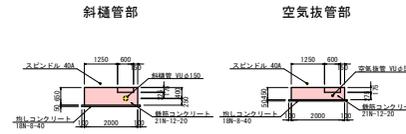
堤体工縦断面図  
V=1:250  
H=1:1,500



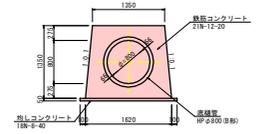
洪水吐工縦断面図  
S=1:200



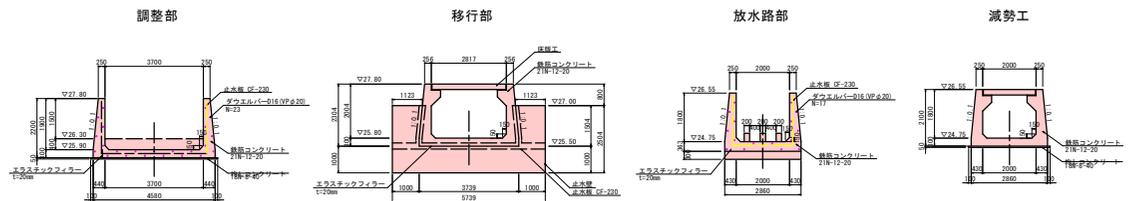
斜樋階段工  
S=1:100



底樋巻立工  
S=1:50



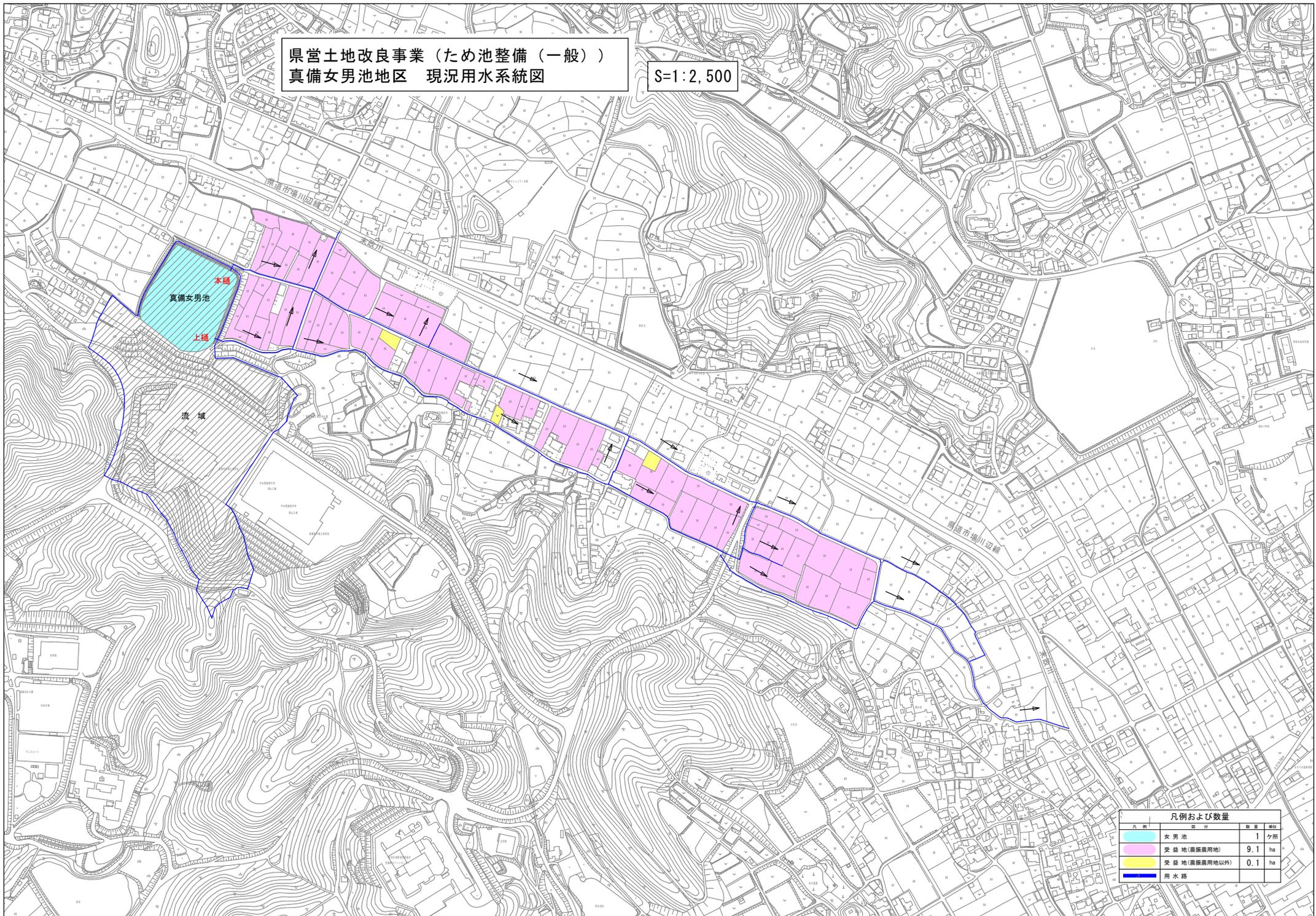
洪水吐工横断面図  
S=1:100





県営土地改良事業（ため池整備（一般））  
真備女男池地区 現況用水系統図

S=1:2,500



凡例および数量			
凡例	区分	数量	単位
<span style="background-color: cyan;">    </span>	女男池	1	ヶ所
<span style="background-color: pink;">    </span>	受益地(農振農用地)	9.1	ha
<span style="background-color: yellow;">    </span>	受益地(農振農用地以外)	0.1	ha
<span style="border-bottom: 2px solid blue;">    </span>	用水路		

県営土地改良事業（ため池整備（一般））  
真備女男池地区 被害想定図・受益者に係る被害

S=1:2,500

被害想定洪水深の算出表

貯水深 (H)	(a)	4.5 × 1.9 <sup>0.2</sup>	= 1.9 m
洪水深 (a1)	(a1)	2.2	= 22.392 m/s
洪水総計排水量 (Q)	(a2)	2.638	= 2.638 m/s
流出排水量 (G)	(a3)	25.030	= 25.030 m/s

区間	A - B		
高低差 (H)	23.3 - 19.5	=	3.8 m
深部距離 (L)	( 97 + 110 ) × 2	=	745 m
平均流速 (V)	( 3.8 + 143 ) <sup>1/2</sup>	=	119.5 m/s
平均勾配 (1/2)	( 3.8 + 143 ) <sup>1/2</sup>	=	0.072
精度係数 (n)	0.032 + 0.000	=	0.030
平均流速 (V)	25.000 + 2.40	=	2.40 m/s
平均流速 (A)	(n - 0) = (0 - 1) <sup>2</sup> × 3.8	=	10.43 m/s
水深 (h)	(n - 0) = (0 - 1) <sup>2</sup> × 3.8	=	0.25 m

区間	B - C		
高低差 (H)	19.5 - 17.3	=	2.2 m
深部距離 (L)	( 110 + 80 ) × 2	=	215 m
平均流速 (V)	( 2.2 + 215 ) <sup>1/2</sup>	=	95 m/s
平均勾配 (1/2)	( 2.2 + 215 ) <sup>1/2</sup>	=	0.101
精度係数 (n)	0.032 + 0.000	=	0.030
平均流速 (V)	25.000 + 3.37	=	2.40 m/s
平均流速 (A)	(n - 0) = (0 - 1) <sup>2</sup> × 3.8	=	7.43 m/s
水深 (h)	(n - 0) = (0 - 1) <sup>2</sup> × 3.8	=	0.22 m

区間	C - D		
高低差 (H)	17.3 - 16.5	=	0.8 m
深部距離 (L)	( 80 + 175 ) × 2	=	157 m
平均流速 (V)	( 0.8 + 127.5 ) <sup>1/2</sup>	=	127.5 m/s
平均勾配 (1/2)	( 0.8 + 127.5 ) <sup>1/2</sup>	=	0.076
精度係数 (n)	0.032 + 0.000	=	0.030
平均流速 (V)	25.000 + 2.93	=	2.55 m/s
平均流速 (A)	(n - 0) = (0 - 1) <sup>2</sup> × 3.8	=	9.89 m/s
水深 (h)	(n - 0) = (0 - 1) <sup>2</sup> × 3.8	=	0.22 m

凡例および数量

凡例	区分	数量	単位
	女男池	1	ヶ所
	受益地(農採農用地)	9.1	ha
	受益地(農採農用地以外)	0.1	ha
<b>計</b>		<b>9.2</b>	<b>ha</b>

凡例	区分	数量	単位
	土石埋没	1.0	ha
<b>計</b>		<b>1.0</b>	<b>ha</b>
	流出埋没	1.0	ha
	干越	8.1	ha
	干越	0.1	ha
<b>計</b>		<b>9.2</b>	<b>ha</b>
	被害区域	23.4	ha
	用排水路 全壊	25	m
	用排水路 半壊	1064	m
	農道 半壊	125	m

想定被害算定基礎表

多量	項目	細目	算定基礎	算定基礎の補正	備考
農業被害	農地	農地	水害 5m以上の洪水	水害 5m以上の洪水	農地被害率と土壌改良等の影響を考慮して算定
		土石埋没	水害 5m以上の洪水	水害 5m以上の洪水	土壌改良等の影響を考慮して算定
		コンクリート	水害 5m以上の洪水	水害 5-1.5mは半壊	
		土木物	水害 5m以上の洪水	水害 0-0.5mは半壊	
		排水路および	水害 5m以上の洪水	水害 0-1.0mは半壊	
		排水路	水害 5m以上の洪水	水害 0-1.5mは半壊	
		排水路	水害 5m以上の洪水	水害 0-2.0mは半壊	
		排水路	水害 5m以上の洪水	水害 0-2.5mは半壊	
		排水路	水害 5m以上の洪水	水害 0-3.0mは半壊	
		排水路	水害 5m以上の洪水	水害 0-3.5mは半壊	
建物被害	建物	建物	水害 5m以上の洪水	水害 5-1.5mは半壊	
		建物	水害 5m以上の洪水	水害 1.5-3.0mは半壊	
		建物	水害 5m以上の洪水	水害 3.0-4.5mは半壊	
		建物	水害 5m以上の洪水	水害 4.5-6.0mは半壊	
		建物	水害 5m以上の洪水	水害 6.0-7.5mは半壊	
		建物	水害 5m以上の洪水	水害 7.5-9.0mは半壊	
		建物	水害 5m以上の洪水	水害 9.0-10.5mは半壊	
		建物	水害 5m以上の洪水	水害 10.5-12.0mは半壊	
		建物	水害 5m以上の洪水	水害 12.0-13.5mは半壊	
		建物	水害 5m以上の洪水	水害 13.5-15.0mは半壊	
その他	その他	その他	水害 5m以上の洪水	水害 5-1.5mは半壊	
		その他	水害 5m以上の洪水	水害 1.5-3.0mは半壊	
		その他	水害 5m以上の洪水	水害 3.0-4.5mは半壊	
		その他	水害 5m以上の洪水	水害 4.5-6.0mは半壊	
		その他	水害 5m以上の洪水	水害 6.0-7.5mは半壊	
		その他	水害 5m以上の洪水	水害 7.5-9.0mは半壊	
		その他	水害 5m以上の洪水	水害 9.0-10.5mは半壊	
		その他	水害 5m以上の洪水	水害 10.5-12.0mは半壊	
		その他	水害 5m以上の洪水	水害 12.0-13.5mは半壊	
		その他	水害 5m以上の洪水	水害 13.5-15.0mは半壊	